

## 令和2年度技術交流会「有限要素法を用いた解析技術」の開催について

核融合科学研究所 技術部長 小林策治

初冬の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年度、4回目となる「有限要素法を用いた解析技術」をテーマとした技術交流会を開催致したく、下記の通りご案内申し上げます。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Zoomを利用したオンラインのみの開催と致します。広く有限要素法を用いた解析技術をテーマに講演（Zoom発表）を募集します。皆様と対面でお会いできないのはとても残念なことではありますが、多くの方々と議論することができれば幸いです。このような状況におかれましても本交流会を通じて、解析技術者の人的ネットワークが構築されることを期待します。またサイバネットシステム様より解析事例等の講演も予定しています。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

## 記

### 技術交流会開催要項

#### 1. 開催日時、場所

日時：令和3年2月25日（木） 午前10時20分～午後4時00分

場所：核融合科学研究所 Zoomによるオンラインのみの開催を予定

#### 2. 申込期限

発表：令和3年1月15日（金）

（発表申し込みが多数となった場合には、事前に予稿内容を確認し調整します。）

聴講「Zoom」：令和3年1月29日（金）

参加希望の方は、必要事項を記入の上、下記Eメールアドレスまでご連絡ください。

担当窓口：[tech-meeting@nifs.ac.jp](mailto:tech-meeting@nifs.ac.jp) 村瀬尊則

##### 【必要事項】

- ・機関名：
- ・部署名：
- ・お名前（漢字・フリガナ）：
- ・参加形態（発表／聴講）：
- ・Eメールアドレス：
- ・発表者希望の方

予稿：発表題目及び講演内容を300字程度にまとめて記載してください。

#### 3. WEB会議ツール「Zoom」について。

参加者には、接続方法やパスワード等をEメールにて後日案内を差し上げます。

#### 4. 講演形式

口頭発表

※発表時間：20分（発表15分、質疑応答5分）

※内容は構造に関わる有限要素解析（流体や磁場との連成解析も可）とします。

#### 5. プログラム（予定）

※発表者数によって、スケジュールは変動する可能性があります。

10:20～10:30 開会のご挨拶と案内

10:30～11:20 サイバネットシステム様による講演

11:20～12:00 口頭発表および質疑応答（2名）

12:00～13:10 休憩

13:30 ~ 14:30 口頭発表および質疑応答 (3名)

14:30 ~ 14:45 休憩

14:45 ~ 15:45 口頭発表および質疑応答 (3名)

15:45 ~ 16:00 技術討論と最後の挨拶

## 6. 講演テーマ「有限要素法を用いた解析技術」

昨年と同様に有限要素法による解析全般に焦点を当て、有限要素法による解析値の検証、あるいは性能や品質の向上を目的とします。解析事例における分析や考察を通して、設計の問題点を抽出する考え方を学び、参加者同士が交流する場を提供することを目的とします。

具体的には、

- 有限要素法解析の活用事例
- 業界特有の解析に関する課題や制約条件
- 熱、流体解析、電磁力解析と構造解析を複合的に考慮した連成計算
- 対象分野は限定せず、例えば、環境、空調、電気・電子機器、エネルギープラント、ナノテク、半導体・燃料電池、化学プロセスなど、幅広く募集します。